よい経営者の第一歩を同友会大学で

2025年度同友会大学8月闹講



同友会大学で学ぶ 経営者が増えている



より広い視野で 変化の激しい時代を読み取る

大局観を養い



経営の基礎・総合的な力を 高めるために



経営課題解決のために

全14講 土曜日開催

第30期入学者募集

一般社団法人 沖縄県中小企業家同友会





た学人

8月16日(土) 13:30-14:45 南風原町立中央公民館(南風原町喜屋武 236)

挨拶(学長・委員長・他)、講師紹介、講義の進め方、受講生の心得などのガイダンス



①小さな島の大きな文化〜組踊の舞台はこうして作られる〜 特別無料講演(会員外も参加可能) 「組踊」伝承者・沖縄県立芸術大学講師 神谷武史氏

8月16日(土)15:00-16:30 南風原町立中央公民館(南風原町喜屋武 236)

普段見ることのできない組踊*の衣装やメイクを舞台で説明。ご家族やご友人、社員さんをお誘いの上参加くだ さい。ゲスト参加者も事前に予約が必要です。 *1972 年に国指定重要無形文化財、2010 年ユネスコ登録。



②沖縄から見える歴史風景

沖縄歷史教育研究会・沖縄大学客員教授 新城俊昭氏

8月30日(土)13:00-15:20

沖縄産業支援センター

「なぜ?」にこそ知識の始まりがある。見る角度で真逆に映る琉球・沖縄の史実研究がいま明かされる。『教 養講座 琉球・沖縄史』著者。戦後80年の今年、沖縄の復興もあわせて考えます。



③子どもの貧困から社会のあり方を学ぶ

沖縄大学 名誉教授 島村聡氏

8月30日(土)15:40-18:00 沖縄産業支援センター

統計分析から見えてくる沖縄の社会構造。子どもの貧困と言われるが、実は大人の貧困。長引く「感染症」の 影響は?解決するためにどう行動すればよいのか。



4 琉球の歴史 王国時代のリーダー像

琉球大学 名誉教授 高良倉吉氏

9月13日(土)13:00-15:20

沖縄産業支援センター

450 年に及ぶ琉球王国の歴史をささえたリーダー像とは。羽地朝秀や蔡温、玉城朝薫ら先人たちの戦略や リーダー像に現代を生き抜くヒントが見つかる。



⑤世界・日本・沖縄の経済動向

日本銀行那覇支店 支店長 小島亮太氏

9月13日(土)15:40-18:00

沖縄産業支援センター

コロナ禍を経て人流変動、価格高騰、ゼロ金利、コメ問題、トランプ政権からの関税問題等、この一年で目ま ぐるしい情勢変化が。世界・日本全体の経済の動きを踏まえ、沖縄の経済動向について解説する。



⑥変わりゆく沖縄の海

しかたに自然案内 代表 鹿谷麻夕氏

9月27日(土)13:00-15:20

沖縄産業支援センター

沖縄の海の環境はどう変わってきたのでしょう?美しい海を次世代に残すために、私たちには何ができるでしょ う? 海から見える環境問題を共に考えます。



⑦ビジネスパーソンなら知っておきたい生成AIの世界~chatGPT その他の事例・活用紹介~

夢づくり沖縄 代表 新井 良直氏

9月27日(土)15:40-18:00 沖縄産業支援センター

生成AIをビジネスシーンで生かす事例も増えてきましたが、まだまだ一部。業務効率化を図るツールとし て、最大限に活用し幅を広げるか。何に注意するか?ワークでは主要ツールを体験。



⑧足元の地域資源で地域おこし ~ピンチをチャンスに~

(公社)沖縄県地域振興協会・地域振興専門アドバイザー 山城定雄氏

10月18日(土)10:00-12:20 つつじエコパーク (国頭郡東村平良 766-1)

何もないと言われ続けたふるさとを宝の山に変えた男。追求したのは地域が元気になること。地域住民と一緒に 「東村つつじ祭り」をつくりあげた。きっと世の中の見え方が変わる。



9 P A体験(プロジェクトアドベンチャー) *PA 棟の宿泊付き

10月18日(土)14:00-17:30

つつじエコパーク (国頭郡東村平良 766-1)

参加者の自主性や協調性を養う野外活動を中心とした宿泊体験講座。学校や企業でも活用が広がっていま す。運動の後はBBQで懇親を深め、緑も海も美しいやんばるに宿泊、翌朝解散のスケジュール。



⑩うちな~ぬ肝心 ~琉球の歴史と先人たちの生き方から学ぶ~

ていーだ観光(株)取締役・スーパーバスガイド 崎原真弓氏

11月1日(土)13:00-15:00

住民を巻き込んだ悲惨な沖縄戦。平和にこそ繁栄と自由があります。講話と礎を巡り、平和の尊さを学びま す。糸満市平和祈念館に直接集合し、現地研修室で受講。講師の案内付で公園内見学予定。



⑪文化を基調とした地域おこし ~老いも若きも未来の宝~

南島詩人 平田大一氏

11月15日(土)13:00-15:20 沖縄産業支援センター

子供達と共に現代版組踊『肝高の阿麻和利』を作り上げ、「KBG84」は高齢者が主役の地域おこしに貢献。 エイサーの定番「ミルクムナリ」や「ダイナミック琉球」を手掛け、活動の幅はワールドワイド。



12沖縄の経済と政治

沖縄国際大学経済学部 教授 前泊博盛氏

11月15日(土)15:40-18:00 沖縄産業支援センター

ファクト(事実)とエビデンス(証拠)を基に経済と政治の「数字」の裏側と米軍基地、安保、地位協定、憲 法、選挙、地方自治など沖縄の政治・経済が抱える主要テーマを鋭く切る。



⑬脱炭素を自分事として考える ~ブルーカーボンの可能性・脱炭素をチャンスとして捉える~

(株) okicom 副社長 小渡 晋治氏

1 1月2 9日(土)13:00-15:20

沖縄産業支援センター

気候変動という世界課題の本質に気づき、政治経済の動きが早い中、どう行動するべきか。脱炭素に取り組 むブルーカーボンはその切り口の一つであり、沖縄にとって大きなチャンスかもしれない。



4 懸命に生きる人々 ~いま、私達が学ぶべきこと~

(一社) アジア支援機構 代表理事 池間哲郎氏

1 1月29日(土)15:40-18:00 沖縄産業支援センター

東南アジア中心に支援に取り組む。過酷な状況下で懸命に生きる人々を通して学ぶ「人としての在り方」。池 間氏のクエスト「どんな時代でも力強く生きる」を共に考えます。

2025 年 同友会大学スケジュール

*諸般の事情により内容、日程等を変更する場合があります。







く講義タイムライン> 【1講義目】 【2講義目】 開会(5分) 開会(5分) 13:00~13:05 15:40~15:45 講義(70分) 講義(70分) $13:05\sim14:15$ $15:45\sim16:55$ 休憩(10分) 休憩(10分) $14:15\sim14:25$ 16:55~17:05 グループ討論(35分) 14:25~15:00 グループ討論(35分) 17:05~17:40 グループ発表(10分) グループ発表(10分) $15:00\sim15:10$ $17:40\sim17:50$ 講師から補足(10分) 講師から補足(10分) $15:10\sim15:20$ $17:50\sim18:00$

募集要項

① 入学資格: 同友会会員ならどなたでも入学できます。会員企業の経営幹部(候補者)も可。

② 受講料: 50,000円 ※お試しに1講義だけの聴講も可能(1講義 5,000円)

※卒業後、もう一度聴講したい方も同額で受け付けます

③ 定 員: 35名(但し、人数が達し次第締め切ります)

④ 募集締切: 8月1日(金)

卒業生からのメッセージ

信念・情熱・使命感を持ち合わせた方々 (第28期卒業生)

私が目指すべきよい経営者、育てたい優秀な社員達が「如何にしてよい会社を築いてきたのか」を問うべく、同友会大学へ参加した。講義を終えて「よい経営者になる」「よい会社をめざす」「よい経営環境をつくる」為の教養を身につける事ができた。各講師の方が素晴らしく、信念・情熱・使命感を持ち合わせた方々ばかりでした。そんな大きなエネルギーを世の中の為に生み出している講師陣に比べ、私はなんて小さな存在であるのかを痛感させられた。今では私が経営者としてのあり方、社員と共にどうあるべきか、どこを目指すべきか、が明確になりました。

地域に根差した学ぶ環境がある (第28期卒業生)

私は県外の人に沖縄を説明する際、自分がもっと文化・芸能・歴史を詳しく伝えることが出来たらと日々思っていたのでタイミングが良い出会いでした。期待と緊張した初受講が「組踊」の内容で講師の神谷武史さんの生き方に引き込まれました。そこから、琉球歴史と戦争、沖縄の問題・課題を深堀する内容で新鮮でした。また環境問題は今まで見て見ぬふりをしていたが逃避できないと現状を思い知らされ覚悟を決めゴミを拾うこと、マイバック持参し水筒を持つようになった。3時間の受講だけでは物足りなく思えた。若い人々が地域の歴史・文化芸能を学び、メディアに惑わされず真相を見抜ける力を身に着ける場所が「大学」、であってほしいと心から思えた。地域に根差した学ぶ環境があることに感謝している。年齢は関係なく寺子屋のような存在として、私は伝承者となりたい。

.....

お申し込みフォーム FAX 098 (859) 6208 TEL 098(859) 6205 メール doyu@okinawa.doyu.jp

氏 名			会社名	役職	
E-mail			携帯電話	通期・単講(どちらかに○)	
学びたいこと、 動機など					

※資料や事前連絡はメールで配信しますが、緊急に備え、ご自身の携帯番号を必ずご記入ください。 ※会員の方は e-doyu もしくは表紙 QR コードから可能です